



留学だより Vol. 2

次世代リーダー育成道場第11期生としてオーストラリアに留学している内山です。留学だより Vol. 2 です。読んでくださると嬉しいです。

早いものでもう一学期が終わってしまいました。10週間の学校生活が終わった後は2週間の holiday がありました。とても充実して楽しかったです（^^）。

今回は私が選択している教科について説明します。六教科すべて書こうとしたのですが、English が想像以上に長くなってしまったので半分は来月分を書くことにします。いきなり English から書きますが、どうぞお付き合いください。

English

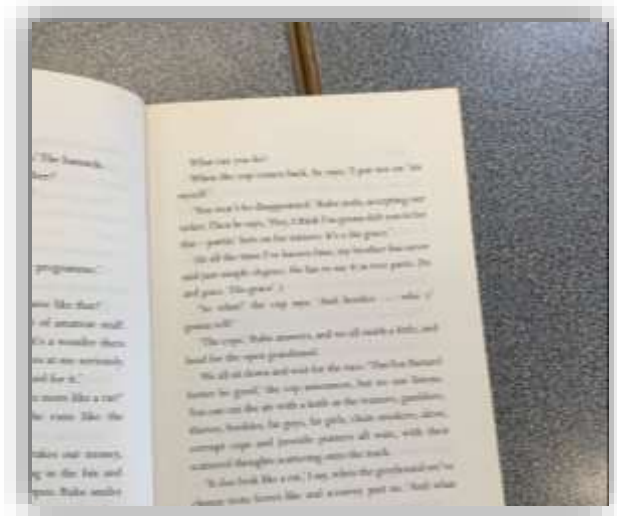
日本でいう国語の授業なので、「いきなり詩とか読解とかだったらどうしよう！！」と思っていました。案の定、いきなり読解でした。（泣）

English は展開で、General English（標準）と Essential English（基礎）があります。Essential のほうを希望していたのですが、General には1クラスに先生が二人いるとのことなので General に入ることにしました。

Markus Zusak 著 『Fighting Ruben Wolfe』 が生徒一人一人に配られ、一回の授業で2章ずつ読み進めるといった具合です。個人個人で読み進めるのではなく、先生に指名された生徒が1ページずつ音読します。みんな読むのが早く、最初のうちはどこを読んでいるのかも分かりませんでした。物語の中には知らない単語や比喩表現が山ほどある

ので、一週目に授業中に理解できたのは全体の5%くらいです。

多いときは一日30ページ近くあったので本当に疲れました。絶対に翻訳にだけは頼りたくなかったので、友達や先生に助けをもらいながら頑張りました…



しかも English は火・水・木と三日間連続で授業があるので、その日にやった範囲はその日のうちに理解しないといけません。(時間割を見て絶望しました)

木曜日が終わった後の安心感が半端ないので私は花の木曜日と呼んでいます。

最初のうちはこの先しっかり授業についていけるのか心配していましたが、三週間目くらいからは授業中に70~80%くらいは理解できるようになったので良かったです。

一学期の English の評価はテストではなく、創作課題の評価でつけられました。この物語の中のサブキャラクターの中から一人選び、その人の視点から600~800語で物語を創作しなさい、という課題です。期限もすぐだったので本当に焦りましたが、先生や友達の助けもあり、何とか終わりました。が、下書きを提出した後そのフィードバックを見ると、やはり訂正箇所がたくさん指摘されていました(涙)。心が折れそうでしたが、最後に先生が励ましのコメントをくださったのでダメージ回復しました。

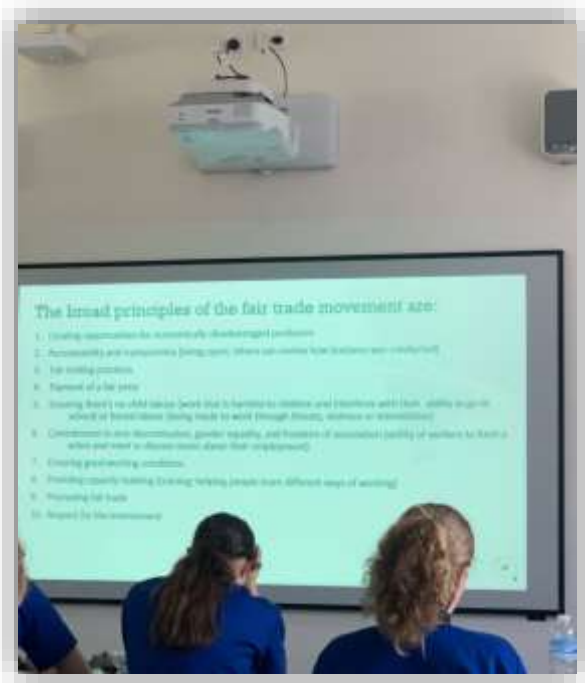
二学期はガラリと変わってオーストラリアの先住民について学んでいます。現在は先住民についてのテレビドラマを授業で見えています。

Business

ビジネス学に興味があったので選択しました。一学期は経済について学んだのですが、見慣れない単語が多く少し大変でした。とはいうものの、授業はあまり進みません。70分授業で授業をするのは30分くらいです。40分間何をしているのかというと、何もしていないのです。お説教タイムです。

私が通学している学校の校則として、「制服を着ること」というものがあるのですが、ほとんどの人は規定の制服を着ていません。そのため授業中にビジネスの先生が uniform check をし、校則を破っている人は怒られています。

右の写真は授業風景ですが、確かこの時は先生が怒って授業が止まっていました。授業中にゲームをしたり騒いだりする生徒が多いので、そのたびに怒られています（笑）。私としてはその間に理解が追いつくのでラッキーです（^^）。



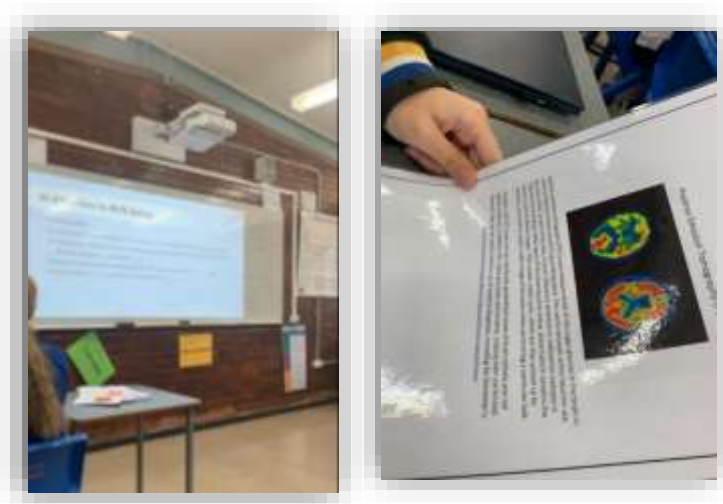
一学期の評価はレポートでつけられました。「youth unemployment in Australia」をメインテーマとして、個人個人でサブテーマを作って調べ学習をし、レポートにまとめます。授業中にその課題をやる時間が何時間もあったため無事終わらせることができました。ちなみにこの課題、提出期限がもともとの日程から一週間延期されました。みんな授業中にゲームばかりして課題をやらないため、進みが遅かったのです。先生も最近は怒る気力がなくなってきたのか、ため息をつくだけになりました。もう書くことがなくなってしまいました。English との文量が全然違いますね。うまくバランスがとれるようになりたいです。

Psychology

教科を選択するときに心理学を見つけて、真っ先に選択しました。私が選択している中では一番難しい教科なのですが、一番好きな教科でもあります。一学期のうちに習ったこととしては、脳の機能・データの収集や分析の仕方・ストレスの基本事項です。先生がパワーポイントを使って説明し、YouTubeの動画を見た後、アクティビティをします。（ディスカッションやプレゼンテーションなど）

最初は単語が80%わからないという状態でとても大変でした。一回目の授業でディスカッションがあり、何も理解できていないまま参加したのですが、先生も含めみんな優しく説明してくれました。初めてプレゼンテーションをしたときは緊張しすぎて声が震えてしまいました(笑)。

留学に来たからには全部英語で勉強しようとしていたのですが、全く知らない単語ばかり並んでいるものを頑張って読み解くよりも、一度日本語でイメージをつかんでから英語に置き換えて英語で覚えるほうが私にとっては効率が良かったように感じます。時間をうまく使いこなせるウーマンになりたいものです。



左の写真は授業風景
右の写真は脳の機能についての授業の日のアクティビティです。説明を読んだ後にディスカッションをしました。

一番難しい Psychology、一学期はテストがありました。レポートにしてくれ〜と絶望しましたが、日本で鍛えられた暗記力でなんとか乗り切りました。記述問題も多く、やはり難しかったです、どうにかかりました。というか、どうにかしました。

いかがでしたか。教科紹介というより私の近況報告のようになってしまったような気がします。少しでも興味をもってくださいましたなら嬉しいです。

次回の留学日よりでは残りの三教科（math, film & TV, Japanese）について紹介します！

オマケ

「オマケ」よりもっとかっこいい言葉があるような気がするのですが、思いつかないので前回に引き続きこのままにしておきます。OMAKEのほうがかっこいいですかね。

・楽しかったこと

三月の初め頃に、少し遠くのビーチに行ってビーチ沿いを車で走るといふ夢のような体験をしました。夕焼けと海のマッチングが最高に素敵でした。海を抜けた後、山道を車で走ったのですが、揺れすぎて飛行機を思い出しました。シートベルトがなければ確実にどこかはケガしていたと思います。



・SUSHI

寿司のお店は本当によく見かけます。学校の購買にも売っています。（写真右上2枚）お寿司といっても手巻き寿司がほとんどで、アボカドと照り焼きチキンの組み合わせ、アボカドとサーモンの組み合わせをよく見ます。とにかく、アボカドが入っています。鮭の握りを食べたいのですがまだ出会えていません。購買では照り焼きチキン&アボカドのお寿司が人気で、だいたいいつも売り切れています。ちなみに巻き寿司が sushi で、握りは nigiri だそうです。

・校則について

学校の校則はあまり厳しくありません。メイクは少しなら OK で、色付きのリップクリームは禁止ということなのですが、先生方もあまり気にしていないようです。「そのリップの色可愛いわね!」とか、「そのリップ私とおそろい!」という会話さえ聞きます。ただし制服には厳しいです。といっても、制服を着ていれば特に問題はありません。規定のもの以外を着ていると怒られます。

髪染めに関しても規制はありません。黒髪、ブロンドだけでなく、赤、紫、緑、ピンク、虹色、青などなど。本当にカラフルです。髪色だけでなく、刈り上げて模様を作っている人、花の冠を常にかぶっている人、一本だけ髪の毛を伸ばしている人など本当に色々な人がいます。

アクセサリーに関しては、必要最低限という規定があるものの誰もその規定を気にしていません。つまり、規定の制服を着ていれば大丈夫です。

久しぶりの更新になってしまいましたが、ここまで読んでくださってありがとうございます。少しでもオーストラリアでの留学生活に興味をもってもらえたら嬉しいです!

日本では新学期が始まりましたね! 私も高校二年生の学年になってしまいました… 皆さん新しい学年でも頑張ってください!! それでは、また!